

平成26年 9月

大森眞澄 学位論文審査要旨

主 査 南 前 恵 子
副主査 松 浦 治 代
同 吉 岡 伸 一

主論文

児童・思春期病棟看護師と小学校教諭の情動知性と心の健康及びエゴ・レジリエンスの比較

(著者：大森眞澄、吉岡伸一)

平成26年 日本看護福祉学会誌 19巻 1頁～13頁

参考論文

1. 新卒看護師の早期離職と再就職にむけての体験

(著者：大森眞澄、長田京子、福間美紀、廣野祥子、森山美香、江藤剛)

平成24年 島根大学医学部紀要 35巻 1頁～7頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、児童・思春期病棟看護師と小学校教諭を対象として、情動知性 (Emotional Intelligence Scale) と心の健康 (精神健康調査票) 及び自我弾力性 (Ego Resiliency Scale) を用いて評価し、比較検討した。その結果、情動知性は、小学校教諭の方が看護師に比べて有意に高かった。年齢や職務経験年数と情動知性との間では、看護師のみ、正の相関がみられ、また、情動知性と自我弾力性については、看護師と小学校教諭ともに正の相関がみられた。本論文の内容は、看護師や小学校教諭の情動知性の育成方略を考えるうえで、看護師の情動知性は、小学校教諭より低いが、経験年数が影響する可能性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。